



寄仕しよう みんなの人生を豊かにするために

【第1533回例会次第(2022年3月第2回)】

日時:2022年3月13日(日) 10:00～

会場:南の森、雪花荘

〈3月〉水と衛生月間

1. 開会点鐘
2. 「ROTARY」斉唱
3. 会長挨拶
4. 幹事報告

- A. 例会変更のお知らせ ビジター受付
- | | |
|-------------------|----|
| 米子東RC……3/16(水) 休会 | なし |
| 米子中央RC…3/17(木) 休会 | なし |
| 境港RC………3/22(火) 休会 | なし |
| 境港RC………3/29(火) 休会 | なし |
| 米子東RC……3/30(水) 休会 | なし |
| 米子中央RC…3/31(木) 休会 | なし |

B. その他

5. 委員会報告

- A. 親睦・出席委員会
出席報告・スマイル発表
- B. その他

6. 【卓話】高野誠司 会員

7. 閉会点鐘

お 知 ら せ

・3/19(土) 会長エレクト研修セミナー
ザ・シロヤマテラス津山別邸

・3/21(月) 例会休会

・3/28(月) 13:40～ 新旧クラブ協議会
ANAクラウンプラザホテル米子

【RI世界大会開催について】

6月4～8日に、直接対面式で米国テキサス州ヒューストンにて開催されます。

RI会長:シェカール・メータ(インド) 地区ガバナー: 岩崎陽一 (鳥取西RC)
会長: 坂口元昭 幹事: 中津尾直己 雑誌・会報: 廣谷栄一

【第1532回例会記録(2022年3月第1回)】

日時:2022年3月7日(月) 12:30～

会場:ANAクラウンプラザホテル米子

出席率 64名[内免除13名] 中36名(内Zoom1名) 72.55%
米山BOX 527円(累計 16, 719円)

【卓話】 「きのこ王国 鳥取について」
菌興椎茸協同組合 代表理事
組合長 常田孝一郎 氏



当クラブは南の森において、原木椎茸を栽培し、毎年3月には「しいたけ収穫祭」と称して会員皆で椎茸を収穫して愉しんでいます。次回の例会は、まさに「しいたけ収穫祭」を開催するのであり、改めて椎茸と鳥取の関係を学んでみようということで、常田講師をお呼びし卓話して頂きました。常田講師の祖父・常田修氏は、大正14年から温泉割烹として対翠閣を営んでらっしゃったが、戦後GHQからの協力を拒んだ為に、対翠閣を没収されてしまいます。生きていく為に、そして戦後日本の復興を目指して全国椎茸普及会を設立し、鳥取から全国へ、世界へと原木椎茸の普及のため各地の農山村を行脚されたとのことでした。現在の原木椎茸の主要産地は第1位は大分県で、鳥取は第12位とのこと。鳥取県が占める全体的な%は1%に満たないものですが、原木椎茸農家に対する県の助成金等の支えがしっかりとしている点においては「きのこ大国・鳥取」の面目躍如といったところでしょうか。原木椎茸の本体は、実は原木の中にある為、原木を叩いたりすると身の恐れを感じて椎茸の実の部分が大きくなる話や、冗談で近くににあった菓子パンの袋を20世紀梨のように袋掛けしたら大きく美味しい椎茸ができて、今は袋掛けするのが当たり前になった話等、雑学的な話も多く愉しく拝聴致しました。

「鳥取県きのこビジョン」という新たなきのこ産業の創出や115号のブランド化等が積極的に行われていくとのこと、**「きのこ王国・鳥取」**のこれからの愉しみだと思えた卓話でした。(廣谷栄一 記)

今後の米子南RC例会			
日 時	第 回例会	内 容	場 所
3月28日(月)12:30～13:30	第1534回 (3月第3例会)	【卓話】 「未来を"つくる"美術館 鳥取県立美術館の整備運営の概要について」 鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局長 梅田雅彦 氏	ANACP ホテル
4月 4日(月)18:30～20:30	第1535回 (4月第1例会)	花見例会	ろんじん 松江本店